

# パンク町田 プロフィール

1968年8月10日 東京生まれ。身長165cm 体重90kg。ULTIMATE ANIMAL CITY 代表。

NPO 法人生物行動進化研究センター理事長 アジア動物医療研究センター(日本ペット診療所)センター長

昆虫から爬虫類、鳥類、猛獣といったありとあらゆる生物を扱える動物の専門家であり、動物作家。野生動物の生態を探るため世界中に探索へ行った経験を持ち、3000種以上の飼育経験と治療の習得を生かした執筆はベストセラーを生み出す原動力となっている。

鷹狩りの世界に造詣が深く鷹匠文化の知識や鷹を扱う技術は群を抜き、ハヤブサや鷹を飛ばすトライアルで3年連続優勝するという偉業を成し遂げる。日本鷹匠協会鷹匠、日本鷹狩協会鷹師、翼司流鷹司、鷹道考究会理事、日本流鷹匠術鷹匠頭を兼任。

オールラウンドな犬種を扱うことができる犬の訓練士でもあり、愛玩犬のしつけから、猟犬、バンドッグの訓練も行う。特定非営利活動法人日本福祉愛犬協会顧問、日本使役犬協会主催、Japanese bandog club 主催。

現在。代表を勤めているUACの1セクションであるアジア動物医療研究センターでは種の保存を考え、希少動物の医療研究も日本一の臨床データ数を誇る。

動物の接し方においては動物の心理を見抜き行動学・心理学に則った繊細で理にかなった考えと扱いをするが、独特の容姿と愉快なキャラクターがうけテレビ出演も多数。その他動物関連での講演、執筆など多方面で活躍中。

## 経歴

1968年 東京都中野にて出生。

1992年 専門誌等の依頼により、動物に関する執筆活動を始める。

1993年 食虫植物の生態を捕らえるため、スラウェシ島にて原住民と生活を共にする。

1995年 チモールオオトカゲの生態を捉えるため、インドネシアのメラウケに著名獣医師野村Vセンター院長野村潤一郎氏とともに滞在。また、この年スラウェシ島にも訪問し現地先住民と交友を図る。

1996年 著名獣医師野村獣医師と共に、フェレット流行前にフェレット用ワクチンを輸入するためアメリカのウィスコンシン州に滞在。

1997年 それまで、動物関連専門学校の教科書を執筆していたが、出版社に依頼され『変態ペット図鑑』をリリース。

1999年 スラウェシ島にて原住民と生活を共にする。

2000年 ニューギニア島ワメナにて、ダニ族(人喰い人種)と生活を共にする。

また、この年思い入れの強いスラウェシ島へも出向き原住民と生活を共にする。ニューギニア島ワメナにて、ラニ族(人喰い人種)と生活を共にする。

2001年 動物の飼育経験をもとに『飼ってはいけない。禁ペット』をリリースこれも大ベストセラーとなる。

2002年 インドネシア領カリマンタン島ダヤク族(首狩族)と共に、原住民が数週間かけてテナガザルの生態を追う狩りに同行する。また、この年思い入れの強いスラウェシ島へも出向き原住民と生活を共にする

2003年 猛禽の第一人者として、『猛禽類の医・食・住』をリリースし、日本のファルコナーのバイブルとして親しまれている。

2004年 イギリスの有名ファルコナーを訪れ、猛禽類の繁殖技術や放鷹技術を学ぶ。その後、3度のイギリス訪問。

2005年 日本にて素人でも猛禽類の種類を道程を行えるようにするため、『世界猛禽カタログ』を出版。

2006年 スペインやアラブ首長国連邦を訪れ、海外の鷹匠技術を積極的に取り入れ、スポーツとしての放鷹技術を日本で構築する。

2008年 千葉県旭市にて、動物研究施設『アルティメットアニマルシティー』を開設。

2014年 8月から、成田空港でバード・ストライク対策に鷹匠の第一人者として参加。

2015年 『さわるな危険！毒のある生きもの超百科』(ポプラ社)を監修。発行部数5万部を更新中。

2017年 『子供に言えない動物のヤバい話』(角川新書)を出版。

## パンク町田の技

動物の専門家と称する人間はたくさんいます。

その中でも群を抜く知識量と動物を扱う高度な技術を持つ。

テレビや書籍などから得た知識だけでなく、実体験が入るから面白い。

**この世の中に、各地の先住民族と生活を共にした人は何人いますか？**

**この世の中に、ヒョウと戯れバツサリ怪我を負った人は何人いますか？**

**この世の中に、先住民族とサルの群れを何週間もかけて追いかけた人は何人いますか？**

**この世の中に、猛毒蛇に噛まれた人は何人いますか？**

そういった体験が、頭いっぱい詰まっています。

パンク町田は動物と共に生きた経験から得た知識で出来ているのです。

パンク町田と関わった人は皆、動物を扱う天性の勘と、経験から繰り出される技に圧倒されます。

動物の専門家と言っても様々。

犬なら・爬虫類なら・鳥なら扱える、学術的知識はあるが実際に動物は扱えない、、などなど。

**この世の中に、毒蜘蛛や猛毒蛇に噛まれずに扱える人が何人いますか？**

**この世の中に、爬虫類や猛禽類を繁殖できる人が何人いますか？**

**この世の中に、ハヤブサを調教し上空 300m から獲物めがけて落下させられる人が何人いますか？**

**この世の中に、オラウータンに殺されずに同居できる人が何人いますか？**

**この世の中に、犬と一緒に猪と戦える人が何人いますか？**

そんな技術までが経験を基にした知識と共に体に刻まれています。

それらの知識・経験・技術により、動物の心理を的確に捉え、繊細で理に適った扱いができるのです。

それがパンク町田らしさであり、それこそがパンク町田が動物のプロたる所以なのです。

### 著書

月刊赤ちゃんとママ(動物の子育て)連載：赤ちゃんとママ社・小二教育技術(動物の不思議)連載：小学館・ポプラ社 【さわるな危険！毒のある生きもの超百科】6万部を更新中・ビジネス社 【ヒトを喰う生き物】・子供に言えない動物のヤバイ話：角川新書・愛犬トラブル解消のためのブリーフセラピー：アルテ・猛禽の医・食・住：ジュリアン・世界猛禽カタログ：ジュリアン・飼ってはいけない(禁)ペット：どうぶつ出版・変態ペット図鑑：飛鳥新書・大型鳥・猛禽類の飼い方：有紀書房・ペットショップで働くプロの方の先生として、『ペットショップライフ(ペット業界紙)』にて連載。2007年6月～全8回連載 読売新聞『鷹の秘密』

### 監修

フジテレビ【ネブ太リーグ】アニマルチューン

ポプラ社【さわるな危険！毒のある生きもの超百科】 ビジネス社 【ヒトを喰う生き物】

### 出演

テレビ朝日『羽鳥慎一モーニングショー』『ワイドスクランブル！』フジテレビ『めざましテレビ』『直撃 LIVE グッデイ！』TBS『白熱ライブビビット』NHK『BSプレミア』読売テレビ『上沼・高田のクギズケ！』テレビ東京『ありえへん∞世界』等出演多数。

### 講演

テレビ大阪主催『レブタイトルズフィーバー』にて毎年パンク町田トークショーを開催。

大阪府茨木市主催『いばらぎ環境フェア』にて、[生物多様性・人と動物の良い関係] 講師

他、全国の動物園・水族館にて講演。

